

2008 年度精密工学会秋季大会学術講演会用 PDF 原稿の書き方

1. PDF とは

PDF(=Portable Document Format)とは、米 Adobe Systems 社が開発した電子文書配布用のデータ形式のことです。どんな種類のアプリケーションで作成された文書も PDF に変換でき、グラフィックや文字装飾を施した複雑なレイアウトも、そのままに再現できます。しかも Windows や MacOS といった機種が異なる環境でも利用できます。

2. 原稿レイアウトの方法

- 1) 原稿は書式設定のできるワープロ(DTPソフト)で作成することを基本とします。
- 2) サイズ・枚数:A4 判 2 ページとします。3 ページ以上のものは受け付けません。
- 3) マージン上 22mm、下 22mm、左 19mm、右 19mm。
論文は上記枠内に収まるようにしてください。(上記の枠からはみ出した原稿は再度作成していただくことがあります。)
- 4) 文字も含め、色の制限はありません。ただし、モノクロプリンタで出力したときにも区別できるよう色使いにご注意ください。
- 5) 文字の大きさ:8.5 ポイントを標準とします。文字数、行間について特に制約を設けておりませんが、下記の原稿模本にのっとってお書き下さい。図や表の文字も本文と同様読みやすい大きさで書いてください。
- 6) 題目：1 行あけた 2 行目の中央に書いてください。
所属・氏名：題目との間を 1 行あけて書いてください。連名の場合、登壇者の氏名の頭に○を付けて下さい。講演申込書に書かれたものと変わらないように注意してください。
- 7) 英文題目：1 行あけた中央に英文題目を書いて下さい。
英文所属・氏名：英文題目の次の行に英文所属・氏名を書いて下さい。登壇者の氏名の前に○は不要です。
英文アブストラクト：次の行から、研究内容を簡潔にわかりやすく 100 ~200word 程度の英文で書いて下さい。
- 8) 本文：二段組みを標準とします。
 - ・ 次の 3 項目を必ず盛り込んでください。
(1) 研究の目的・意義、(2) 研究の方法、(3) 研究の結果とその意味
 - ・ 紙面の大部分を図面や数式に用い、当日口頭で説明するような書き方や、「…詳細は当日の発表にゆずる」、「…については当日述べる」等の表現は避けてください。
 - ・ 速報的なものでも、構成はできるだけ上記に従って下さい。もちろん原稿執筆時点以後の研究の進展を当日付け加えて発表することは歓迎いたします。
 - ・ 講演を聴講しない人にも研究内容が理解できるように、構成、図面の選択など、充分に検討してください。

原稿見本

講演番号

↑
本会で記入

(1 行あける)

題 目

(1 行あける)

所属 ○氏名、 所属 氏名 (登壇者に○)

(1 行あける)

英文題目

英文所属 氏名、 英文所属 氏名

英文アブストラクト(100~200 word 程度)

3倍

3倍

(1 行あける)

本文(2段組)

1行28字程度、文字サイズ 8.5 ポイント推奨
1コラム 55 行程度、図は全幅にわたっててもよい

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|